

島根県原子力環境センターは、県の原子力安全・防災対策の体制強化の一環として設置され、原子力発電所周辺地域住民のみなさんの健康と安全を確保するため、緊急時対応を含めた環境放射線監視や環境試料中の放射性物質の調査などを行うとともに、県の原子力安全対策や放射線・原子力などについての情報提供を行っています。



2 FLOOR

18 ホール
放射線や原子力安全・防災に関するパネルを展示しています。
2F ホールの様子



14 15 テレメータ室・データ解析室
島根県環境放射線情報システムにより、島根原子力発電所周辺においてモニタリング局舎で連続測定される環境放射線データを集中監視しています。



見学会の様子



緊急時モニタリング訓練の様子

18 研修ホール
見学会での放射線測定体験実習や、研修会などを行う会場として活用しています。また、原子力発電所の緊急時には、緊急時モニタリングセンターの機能が発揮できる様に普段から準備しています。

環境放射線監視の概要

放射線の量や放射性物質の濃度を連続的、または一定の頻度で測定し、監視することをモニタリングといいます。原子力環境センターでは、発電所周辺で空間放射線の測定や農作物、水産物、飲料水、土壌などいろいろなもののモニタリングを行い、放射性物質が周辺環境に影響を与えていないかどうかを確認しています。

原子力発電所は、環境への影響という意味ではほとんど無視できるレベルですが、微量の放射性物質を放出しています。また、事故などにより放射性物質を放出する可能性もあります。そこで、県では発電所から放出される放射性物質の影響を監視するため、発電所周辺で放射線の測定や環境試料中の放射線の測定を行っています。

この環境放射線等の調査は、県が毎年策定している測定計画に基づき、県原子力環境センター及び中国電力(株)で実施しており、その調査結果については、「島根原子力発電所周辺環境放射線等測定技術会」において、技術的な検討、評価をしたうえで、報告書に取りまとめています。

測定計画の作成 島根県【松江市、中国電力(株)の意見を聞き作成します。】

測定 島根県【中国電力(株)でも測定を行っています。】

測定結果の評価 島根原子力発電所周辺環境放射線等測定技術会

測定結果のお知らせ 四半期報・年報(しまね原子力広報誌「アトムの広場」、環境放射線情報システム表示装置、インターネットでもお知らせしています。)

安対協(島根県原子力発電所周辺環境安全対策協議会)

みなさんの代表者を集まっていただき、調査結果を説明し理解していただく場です。



- 施設概要**
- 建物 鉄骨造2階建(平成15年3月完成)
 - 延床面積 約1,672m²
 - 開館時間 午前9時～午後5時(お越しの際は、あらかじめご連絡をお願いします。)
 - 休館日 土・日、祝日、年末年始



島根県原子力安全対策課 原子力環境センター

〒690-0122 島根県松江市西浜佐陀町 582-1
(島根県保健環境科学研究所 敷地内)
TEL.0852-36-4300 FAX.0852-36-6683
E-Mail genshiryoku@pref.shimane.lg.jp

環境放射線リアルタイムデータ表示 PC <http://www.houshasen-pref-shimane.jp>
携帯 <http://www.houshasen-pref-shimane.jp/m/>



2019.12

島根県原子力環境センター

Shimane Prefectural Nuclear Power Environmental Center



島根県

原子力環境センターについて



1 FLOOR

3 試料前処理室
放射性物質の種類や量を測定するために、環境試料を蒸発・濃縮・乾燥・灰化などの前処理を行う部屋です。



試料前処理の様子

5 放射化学分析室
環境試料中の放射性物質を測定するために、試料の化学分析を行う部屋です。



核種分析室の様子

10 モニタリング機材室
原子力発電所の緊急時に使用する可搬型モニタリングポストや放射線サーベイメータ、防護服などの各種資機材を保管している部屋です。



モニタリング機材室の様子

11 脱衣室
緊急時モニタリング活動の際、屋外での活動から帰還した要員が防護服等を脱衣する部屋です。
12 汚染検査スペース
脱衣後、要員に汚染がないか検査する部屋です。



汚染検査用の体表面モニター

2019.12

空間放射線の調査

環境放射線情報システムにより空間放射線量及び気象状況(風向・風速等)を常時監視しています。

原子力発電所からの放射線影響を監視するため、空間放射線量の測定を行っています。空間放射線量率の連続測定は測定局舎(24カ所)で行っていますが、これらのデータは原子力環境センター内に設置している環境放射線情報システムで集中監視しています。



テレメータ端末の操作

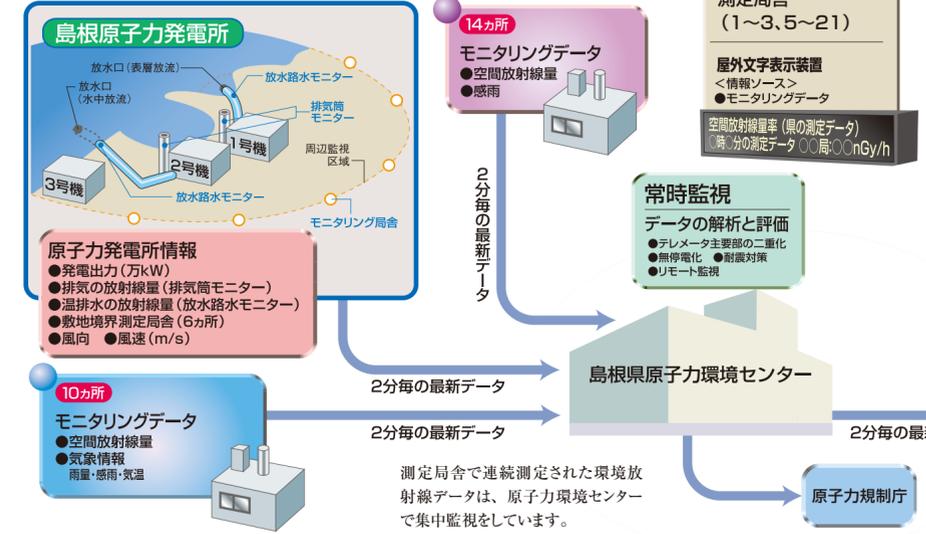
また、原子力発電所周辺地域において、可搬型ゲルマニウム検出器を用いた in-situ 測定※(24地点)や、空間放射線積算線量の把握のための積算線量計の設置(14地点)なども行っています。

※ in-situ 測定：可搬型ゲルマニウム半導体検出器を環境中に設置し、地表面における人工放射線の測定を行います。

環境放射線情報システム

島根県では、島根原子力発電所周辺環境の安全を守るために、「島根県環境放射線情報システム」により、発電所周辺の環境放射線を24時間休みなく監視しています。このシステムは、監視機能の信頼性の向上や測定結果を広く県民の皆さんにわかりやすく見ていただくことに重点をおいています。

テレメータシステムによる環境放射線の常時監視(24カ所)



空間放射線測定地点図



※空間放射線量率：単位時間あたりの空間放射線量
 ※モニタリング局舎：放射線連続モニタを備えた野外測定設備。気象観測装置等を備えたものもあります。



測定局舎(御津局)



測定局舎(持田局)

空間放射線量率を測ります。



in-situ 測定



可搬型ゲルマニウム検出器の運搬

地表面の放射能を測ります。

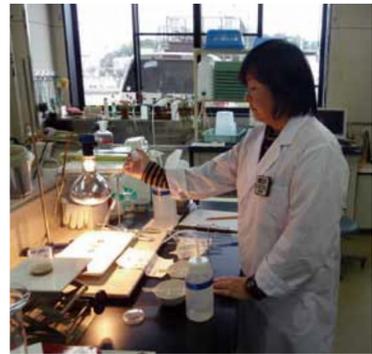
環境試料中の放射能の調査

農畜産物、海産物、土壌、水、浮遊じんなどに含まれている放射性物質の種類と量を測定しています。

農畜産物等の環境試料中の放射能については、原子力発電所から放出される放射性物質の人体への摂取経路等を考慮して試料の選定を行い、核種分析を行っています。

また、環境における放射性物質の蓄積傾向を把握するために、陸上や海底土などについても核種分析を行っています。

なお、原子力発電所からの放射性物質の放出量は国や県へ報告され、国では原子力施設運転管理年報等で、県では環境放射線等調査結果報告書などで公表しています。



放射化学分析の様子

環境試料採取地点図(陸上)



環境試料中の放射能調査の流れ

